

医療行動科学5

年次	学期	学則科目責任者
3年次	前学期	伊藤 孝訓 (歯科総合診療学)

学修目標 (GIO) と単位数	<p>単位数：1 単位</p> <p>医療は、単に疾患だけを診るのではなく、生物・心理・社会的存在として、ひとりの人間としての患者を理解し、治療にあたる全人的医療の必要性が今日求められている。また、治療の対象は慢性疾患や生活習慣病の治療と予防が主となり、患者のライフサイクルに応じたセルフケア重視へと移行しつつある。</p> <p>医療は患者と医療者が協働する時代といわれ、“patient-centered medicine”の医師中心、患者中心を越えた第3の枠組みとして“relationship-centered care”という概念が提示された。“relationship-centered care”とは、様々な「関係」を中心にヘルスケアを構築するという考え方で、「関係」に関わる人の個性を取り入れること、感情が重要な要素となること、相互作用の中で「関係」が生じていくこと、「関係」の形成と維持が倫理的に重要であること、という4つの原則が示されている。(宮田靖志/北海道大学病院)</p> <p>本講義を通して、患者-医療者関係についてより深く考え、自らの行動指針を整理、決定する。</p>
担当教員	伊藤 孝訓、多田 充裕、内田 貴之、※金尾 好章、※蝦名 直美、※原 龍馬
教科書	講義内容に関連した資料を配布する
参考図書	「人間学入門」 日本医学教育学会 南山堂 「患者と医師のコミュニケーション」 石川ひろの、武田裕子 篠原出版新社 その他随時紹介する。
実習器材	SGD はノートパソコンを使用するので、班ごとに用意すること。
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う平常試験 (60%)、制作物・体験学習レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) する。 平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間数の1/5 以上を欠席した場合、成績評価は0 ~ 60 点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	よりよい患者-医療者関係を構築するための基礎的事項について、少し深く基本から考えてみましょう。SGD による学習方略を用いますので積極的に学習して下さい。 E-mail (shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/10 (月) 1時限 09:00~10:30	ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために患者-医療者関係を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 患者中心の医療について説明できる。 2. 患者と医療者の関係について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 現在の医療について説明できる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法 (言語的と非言語的) を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	伊藤 孝訓
2017/04/17 (月) 1時限 09:00~10:30	地域における患者関係 ~ 歯科医院を中心として~	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、地域における患者関係を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 一般歯科医院における患者・医療者の関わりについて概説できる。 2. 歯科医院におけるヘルスケアを概説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯科医院の社会的特徴を説明できる。</p>	金尾 好章

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/17 (月) 1時限 09:00～10:30	地域における患者関係 ～歯科医院を中心として～	30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配布資料 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 4 地域保健、地域医療 キ かかりつけ歯科医機能 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *⑧地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。 *⑩地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。	金尾 好章
2017/04/24 (月) 1時限 09:00～10:30	地域における患者関係 ～在宅、院外施設を中心として①～	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、地域における患者関係を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 一般歯科医院における患者・医療者の関わりについて概説できる。 2. 地域包括ケアシステム、多職種連携、介護、在宅医療等について概説できる。 3. 一般歯科医院における歯科訪問診療、在宅歯科医療について概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯科医院の社会的特徴を説明できる。 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配布資料 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 カ 成人・高齢者保健 c 介護予防 (地域支援事業、予防給付) 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *⑧地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。 *⑩地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。	原 龍馬 伊藤 孝訓
2017/05/01 (月) 1時限 09:00～10:30	地域における患者関係 ～在宅、院外施設を中心として②～	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために地域における患者関係を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 一般歯科医院における患者・医療者の関わりについて概説できる。 2. 一般歯科医院における歯科訪問診療、在宅歯科医療について概説できる。 3. 地域包括ケアシステム、多職種連携、介護、在宅医療等について概説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯科医院の社会的特徴を説明できる。 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配布資料 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 カ 成人・高齢者保健 c 介護予防 (地域支援事業、予防給付) 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学	原 龍馬 伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/01 (月) 1時限 09:00～10:30	地域における患者関係 ～在宅, 院外施設を中心として②～	B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *⑧地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。 *⑩地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。	原 龍馬 伊藤 孝訓
2017/05/08 (月) 1時限 09:00～10:30	病院における患者関係 ～二次医療機関～	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、病院における患者関係を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 2次医療機関における患者・医療者の関わりについて概説できる。 2. 細分化された歯科医療の特性を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 2次医療機関の役割について説明できる。 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 イ 地域医療でのチームワーク a 病診連携 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *⑧地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。	内田 貴之
2017/05/15 (月) 1時限 09:00～10:30	日本人の心理特性	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために医療におけるコミュニケーション心理を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 日本人の生活と心理的特徴について説明できる。 2. 男女の生活する上での心理的違いについて説明できる。 3. 日本人のアイデンティティーについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ヒトの行動と心理について説明できる。 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *①患者との信頼関係を築くことができる。 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *③診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。	蝦名 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/22 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験 1	<p>【授業の一般目標】</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>【学修方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕
2017/05/29 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (1) 「日本文化に合致したインフォームドコンセントとは」を深く考える。	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を实践するために、日本文化に合致するインフォームド・コンセントに関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 患者中心の医療とはどのようなことか、その意味を多角的に概説できる。 2. 医療の不確実性について説明できる。 3. 我が国における独自の医療システムを概説できる。 4. 患者の個別性や価値観について説明できる。 5. 魚骨図を用いて要因分析ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 インフォームド・コンセントの意義と重要性について説明できる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有 SGD パソコン</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕
2017/06/05 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (2) 「日本文化に合致したインフォームドコンセントとは」を深く考える。	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を实践するために、日本文化に合致するインフォームド・コンセントに関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 患者中心の医療とはどのようなことか、その意味を多角的に概説できる。 2. 医療の不確実性について説明できる。 3. 我が国における独自の医療システムを概説できる。 4. 患者の個別性や価値観について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 インフォームド・コンセントの意義と重要性について説明できる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有 SGD パソコン</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕
2017/06/12 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (3) 「我が国の文化に	<p>【授業の一般目標】 共感的・全人的な歯科医療を实践するために必要な方略に関する知識を修得する。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	<p>あった共感的・全人的な医療の実践をするための方略とは」を深く考える。</p>	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者中心の医療とはどのようなことか、その意味を多角的に概説できる。 2. 医療の不確実性について説明できる。 3. 我が国における独自の医療システムを概略できる。 4. 患者の個別性や価値観について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>全人的医療について説明できる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>有 SGD パソコン</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 基本事項</p> <p>A-4 インフォームドコンセント</p> <p>*①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。</p> <p>A-7 対人関係能力</p> <p>A-7-3) 患者中心のチーム医療</p> <p>*①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。</p>	<p>伊藤 孝訓 多田 充裕</p>
<p>2017/06/19（月） 1時限 09:00～10:30</p>	<p>患者中心の医療（4） 「我が国の文化にあった共感的・全人的な医療の実践をするための方略とは」を深く考える。</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <p>共感的・全人的な歯科医療を実践するために必要な方略に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者中心の医療とはどのようなことか、その意味を多角的に概説できる。 2. 医療の不確実性について説明できる。 3. 我が国における独自の医療システムを概略できる。 4. 患者の個別性や価値観について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>全人的医療について説明できる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>有 SGD パソコン</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 基本事項</p> <p>A-4 インフォームドコンセント</p> <p>*①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。</p> <p>A-7 対人関係能力</p> <p>A-7-3) 患者中心のチーム医療</p> <p>*①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。</p>	<p>伊藤 孝訓 多田 充裕</p>
<p>2017/06/26（月） 1時限 09:00～10:30</p>	<p>患者中心の医療（5） 「日本文化に合致したインフォームドコンセントとは」および「我が国の文化にあった共感的・全人的な医療の実践をするための方略とは」を深く考える。</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <p>我が国の文化にあったインフォームドコンセントおよび共感的・全人的な医療を実践するために、歯科医師の役割を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者-医療者関係での医療者の役割を説明できる。 2. 患者に望まれる歯科医師像を概説できる。 3. 専門職（プロフェッション）とは、について説明できる。 4. 「賢くなる患者」その意味と必要性について説明できる。 5. テーマに対して批判的思考が実践できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>全人的医療について説明できる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>有 発表討議</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>演習</p>	<p>伊藤 孝訓 多田 充裕</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/26 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (5) 「日本文化に合致したインフォームドコンセントとは」および「我が国の文化にあった共感的・全人的な医療の実践をするための方略とは」を深く考える。	【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。	伊藤 孝訓 多田 充裕
2017/07/03 (月) 1時限 09:00～10:30	患者教育の実践 (1) 「賢い患者に変容させる患者教育とは」を深く考える。	【授業の一般目標】 賢い患者に変容させる患者教育を実践するために、歯科医師の役割を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 患者-医療者関係での医療者の役割を説明できる。 2. 患者に望まれる歯科医師像を概説できる。 3. 専門職（プロフェッション）とは、について説明できる。 4. 「賢くなる患者」その意味と必要性について説明できる。 5. テーマに対して批判的思考が実践できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 患者教育について説明できる。 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有 SGD パソコン 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。	伊藤 孝訓 多田 充裕
2017/07/10 (月) 1時限 09:00～10:30	患者教育の実践 (2) 「賢い患者に変容させる患者教育とは」を深く考える。	【授業の一般目標】 賢い患者に変容させる患者教育を実践するために、歯科医師の役割を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 患者-医療者関係での医療者の役割を説明できる。 2. 患者に望まれる歯科医師像を概説できる。 3. 専門職（プロフェッション）とは、について説明できる。 4. 「賢くなる患者」その意味と必要性について説明できる。 5. テーマに対して批判的思考が実践できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 患者教育について説明できる。 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有 SGD パソコン 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。	伊藤 孝訓 多田 充裕
2017/07/24 (月) 1時限	患者教育の実践 (3)	【授業の一般目標】 賢い患者に変容させる患者教育を実践するために、歯科医師の役割を理解する。	伊藤 孝訓 多田 充裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
09:00～10:30	「賢い患者に変容させる患者教育とは」を深く考える。	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者-医療者関係での医療者の役割を説明できる。 2. 患者に望まれる歯科医師像を概説できる。 3. 専門職（プロフェッション）とは、について説明できる。 4. 「賢くなる患者」その意味と必要性について説明できる。 5. テーマに対して批判的思考が実践できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 患者教育について説明できる。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有 発表討議</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕
2017/09/04（月） 1時限 09:00～10:30	平常試験 2	<p>【授業の一般目標】</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p>	伊藤 孝訓 多田 充裕